

すみれ組すくわくの様子



子供たちの伸びる・育つ（すくすく）好奇心・探求心（わくわく）を応援する幼保共通プログラムに参加しています。今回は初めての取り組みという事で赤・白チームに分かれ【自然】をテーマに取り組みました！すみれ組はハロウィンが近かった事もあり、装飾用のかぼちゃを用意して、子ども達からどんな気付きやアプローチがあったのか、ご紹介していきたいと思います。

- ① 10/25（金）【保育室に突然大きなかぼちゃ出現！】→子供たちには内緒で装飾用のかぼちゃ（自然物）を用意してみました。それを見た子ども達は「何これ？」「おっきい」と興味深々！触ったり、においを嗅いだり、持ってみたり。そんな中で子ども達の中から「ハロウィンのかぼちゃ？」という声。「保育者が、本物のお化けかぼちゃも作れそうだね。」と伝えると、「やりたい！」「どうやって作るの？」とお化けかぼちゃを作ってみたいという声が広がって行きました。
- ② 10/30（月）【調べてみよう！】→お化けかぼちゃを作ってみるという事で意見がまとまったものの、次はどうやって作るか、という話し合いが始まりました。子ども達の中から、お化けかぼちゃの中に光を入れるという声が上がった為、どうやったらかぼちゃの中に光を入れられるのか、という話にも繋がり、目の所を切って中にランプを入れる、という話になりました。その他にも「スマホ（タブレット）で調べる！なんて声もあった為、保育園のタブレットを使ってお化けかぼちゃの作り方を調べてみたりもしました(*^▽^*)
- ③ 10/30（月）【作ってみよう！】→いよいよお化けかぼちゃの製作に取り組んでいきます！かぼちゃを切るのは難しいので、顔の下書きを子どもたちで頑張っ、栄養士のあい先生に顔とお尻部分のカットをお願いしました！（自分たちで給食室までお願いしに行ったんですよ♪）かぼちゃのお尻部分から中を覗くと種がいっぱい！「気持ち悪い」「なんかいい匂い」「早くやりたい」と色んな意見が飛び出る中、種の取り出し方にも個性が見られました！（素手でやったり手袋やスプーンを使ったり、それぞれが考えたやり方で挑戦しました。）
- ④ 10/30（月）【光はどうする？】→いよいよお化けかぼちゃが完成し、光をどうするか問題に。最初は「ランプを入れる」という意見も出たのですが、園にはランプが無く、園で用意出来る光の中から＜懐中電灯＞＜スマホのライト＞＜夏祭りで使ったお魚ライト＞を用意して試して見る事に。結果は色のきれいなお魚ライトを採用する事になりました。自分たちで色々考えて取り組んだお化けかぼちゃ。みんな大満足の様子でした 🍁



すくわく考察

今回初めて自然物（装飾用かぼちゃ）を使っのハロウィン装飾を行った。突然保育室に現れた巨大かぼちゃに、子どもたちの反応は非常に良かった。しかしすでにハロウィンの製作を行っていた事や町にハロウィン飾りが出ている事もあり、かぼちゃ＝ハロウィン飾りという印象が定着しており、特に話し合う事も無くお化けかぼちゃを作る流れとなった。

ハロウィン終了後、年長児がかぼちゃから取り出した種を庭のプランターに植えているのを見て、「すみれさんの種も植えよう！」と子どもたちからの声があった為、年長児と共に種植えを行えたのは良かった。まだ自分たちで1から考えて発展させていく姿は少なかったが、その中でも自分の意見を発信したり、他児の意見を尊重する等、子どもたちなりの発見や気づきには繋がったように思う。また种植えをした場所から芽が出て来たので、その後どうしていくのか子どもたちと話し合っ進めていきたい。